

第66回 全国夜間中学校研究大会・市川大会（誌上発表）要項

2020年12月10日(木)～11日(金)に千葉県市川市にて開催を予定していましたが第66回全国夜間中学校研究大会・市川大会（以下、大会）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、誌上発表による開催に変更することになりました。したがって、予定されていた市川市生涯学習センター、市川教育会館を会場とした研究大会は行わず、各分科会の発表や各種報告等を大会記録誌へ掲載することをもって、研究大会といたします。大会実行委員会および全国理事会で検討の結果、全国的な感染拡大の状況や大規模集会の自粛要請に鑑み、判断いたしました。なお、誌上大会の開催、記録誌の編纂、配布等に関しては、以下のとおり扱うものとします。ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

全国夜間中学校研究会会長 北野 正浩
第66回大会実行委員会委員長 牧野 英一

1 主 催 全国夜間中学校研究会 第66回全国夜間中学校研究大会実行委員会

2 後援申請予定(順不同)

文部科学省 東京都教育委員会 神奈川県教育委員会 千葉県教育委員会 埼玉県教育委員会
茨城県教育委員会 栃木県教育委員会 群馬県教育委員会 北海道教育委員会 宮城県教育委員会
福島県教育委員会 山梨県教育委員会 足立区教育委員会 八王子市教育委員会 葛飾区教育委員会
墨田区教育委員会 大田区教育委員会 世田谷区教育委員会 荒川区教育委員会 江戸川区教育委員会
川崎市教育委員会 横浜市教育委員会 市川市教育委員会 松戸市教育委員会 川口市教育委員会
常総市教育委員会 千葉市教育委員会 札幌市教育委員会 函館市教育委員会 旭川市教育委員会
釧路市教育委員会 相模原市教育委員会
日本弁護士連合会 (公財)中国残留孤児援護基金 (公財)アジア福祉教育財団難民事業本部

3 大会主題 夜間中学校の実態から教育の課題を明らかにし、 義務教育未修了者の人権としての学ぶ権利を保障しよう。

4 今年度の大会について

- (1) 開会行事、学校見学・授業参観、閉会行事、講演等はありません。
- (2) 全夜中の計画及び報告、主題提起、生徒体験発表、教科別分科会発表、領域別分科会発表、各種報告等は、誌上での発表になります。

5 生徒体験発表

・関東地区 ・近畿地区 ・広島地区

6 教科別分科会

夜間中学の教科学習のねらいを確認し、それぞれの地域・学校で、どのように創意・工夫を重ねながら取り組んでいるのかを発表する。

- ①日本語A(入門) ②日本語B(国語) ③社会 ④数学 ⑤理科
- ⑥外国語科(英語科) ⑦健康教育

7 領域別分科会

◆第1分科会「教育内容・カリキュラム」

多様な夜間中学生に向き合い、実態に即した教育課程やカリキュラムをはじめ、取り組んだ教育内容等、「夜間中学の目指すべき学び」について考える。

◆第2分科会「学校行事・生徒会活動・特別活動」

学校行事、生徒会活動、昼間部の生徒や地域との交流等の特別活動の実践を交流し、夜間

中学生徒がともに学び、いきいきできる学校生活の創造を考える。

◆第3分科会「人権教育・平和教育」

今まで積み重ねてきた一人一人を大切にする夜間中学校の学びを継承し、各校で取り組んでいる人権・平和に係わる学習について交流し深化をめざす。

◆第4分科会「在日朝鮮人教育・多文化共生教育」

差別の厳しかった日本社会を生き抜いた在日の人々の思いに向き合う在日朝鮮人教育をより発展し、中国などからの引揚げ帰国者や様々な地域からの新渡日者も含め、一人一人のアイデンティティーを大切にし、互いに尊重し認め合う多文化共生の教育実践を考える。

◆第5分科会「増設・教育条件・啓発活動」

夜間中学の増設に向け、「教育機会確保法」の制定後、いかにして増設を成し遂げていくのか、全国を取組を交流して、その道筋を考える。

※ 第5分科会は特別な報告は用意していません。公立・自主を問わず、各地の報告や意見をもって発表とします。

- 8 記念講演・記念寄稿について
記念講演が開催できないため、記念寄稿を行わないことといたします。

- 9 全国の夜間中学に関する資料
各校の現状と課題、関係諸グループ、各種統計、この一年間の動き、
会員名簿、役員名簿等を掲載します。

- 10 発表誌(記録冊子)について
2021年3月に発行を予定しています。 予価 1冊 1,500円
別途ご案内を参考に、12月までにお申し込みください。